



1月食育だより

いばらきけんりつきょうわとくべつしえんがっこう
茨城県立協和特別支援学校

2026.1

あ 明けておめでとうございます。今年も安全でおいしい給食作りに努めます。よろしくお願ひいたします。
いよいよ3学期が始まりました。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理により一層気を付けて、
いちにちにち たいせつ 一日一日を大切に過ごしましょう。

とし
今年はうま年！



うまのように野菜を
たっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう！



よく味わってうま味
を感じよう！



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

に ほん がっ こう きゅう しょく

日本の学校給食のあゆみ

がっ こう きゅう しょく はじ

学校給食の始まり



明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子ども
たちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は、大
督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、
いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。



大正12年(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励され
るなど、各地へ広がりましたが、戦争による食糧不足で中止せざるを得なくなっていました。

戦後、子どもたちの栄養状態を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援
公認団体)から給食食用物資の寄贈を受け、翌1月に学校給食が再開されました。昭和29(1954)年には、
「学校給食法」が成立し、学校給食が教育活動として位置づけられるようになりました。主食はパンが中心でし
たが、昭和51年に米飯(ごはん)が導入されると、カレーライスなどが登場し、献立内容が充実していきました。

おにぎり

や ざかな
焼き魚
つけもの
漬物
(明治22年ごろ)



五色ごはん

えいよう
栄養みそ汁
(大正12年ごろ)



ミルク

トマトシチュー
(昭和22年ごろ)



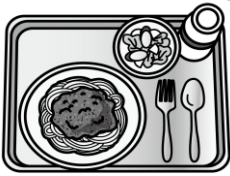
コッペパン・ミルク

たつた あ
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和25～30年ごろ)



ミートスパゲッティ

ぎゅうにゅう
牛乳
フレンチサラダ
(昭和40～50年ごろ)



カレーライス

ぎゅうにゅう しお
牛乳・塩もみ
ゆで卵
(昭和51年ごろ)

